



平成 29 年 7 月 26 日

各 位

会 社 名 ム ラ キ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 永 井 清 美
(J A S D A Q コード 7 4 7 7)
問 合 せ 先 経 理 部 長 加 瀬 光 二
電 話 番 号 0 4 2 - 3 5 7 - 5 6 1 0

(開示事項の経過) 構造改革の進捗状況に関するお知らせ

当社は、厳しい収益状況から脱却し収益基盤を強化するとともに、市場環境の変化に対応した新しい販売体制・顧客サービスを提供するために、平成 29 年 3 月 16 日に「構造改革の実施に関するお知らせ」を公表いたしました。今般その進捗状況について、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 構造改革の概要と進捗状況

(1) 市場規模に合った戦略的営業体制

・概要 (計画)

包括的な営業体制から細分化したエリア別に市場分析を行い、市場の将来性を見据えた戦略的な営業店及び出張所の配置、経営資源の投下を行います。

1 拠点当たりの収益力を強化するためのドミナント戦略を構築し、基幹営業店を基軸にコンパクトで理想的な営業店や出張所体制を確立することで、より営業活動に集中できる体制を目指します。

・結果及び進捗状況

エリア別の市場分析を基に、平成 29 年 4 月に営業店及び出張所の配置転換と基幹営業店への経営資源の投下を行いました。

1 拠点当たりの収益力は既に強化されつつありますが、一部のエリアにおいては新たな課題が発生しているため、ドミナント戦略の再構築を検討しております。

基幹営業店においては事業計画通りに機能しており、事務的業務が軽減された営業店および出張所は営業活動に集中できる体制となりました。これにより、前年に比べ営業効率は大きく向上しております。

(2) 商品の流通・物流の抜本的な見直し

・概要 (計画)

現在の複雑化した商品の受注や発注システム及び在庫管理を見直し簡素化いたします。商品の発注・在庫コントロールを物流センターで一元管理する仕組みを構築いたします。これにより、営業店における業務軽減や全社的な在庫ロスを防ぎ、トータル的なコスト削減を目指します。

・結果及び進捗状況

平成 29 年 10 月の実用化を目指し、物流改革のプロジェクトチームを立ち上げ、新システムの構築作業に取り組んでおります。

受注や発注に関しましては、既に平成 29 年 6 月より新方式の運用を開始しており、基幹営業店及び営業店・出張所の業務の軽減がなされております。

2. 今後の見通し

上記のとおり、現在、当社の構造改革は着実に進捗しており、今後さらなる改革を実施していく所存であります。本件に伴う業績の影響につきましては、平成 29 年 5 月 12 日公表いたしました「平成 29 年 3 月期決算短信」の平成 30 年 3 月期業績予想にも寄与しております。

以 上